

平成19事業年度

決 算 報 告 書

第4期

自 平成19年 4月 1日

至 平成20年 3月31日

国立大学法人 琉球大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人琉球大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	13,419	13,419	0	
施設整備費補助金	125	136	11	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
補助金等収入	25	56	31	(注2)
国立大学財務・経営センター 施設費交付金	55	55	0	
自己収入	16,032	16,449	416	
授業料、入学料及び検定料収入	4,566	4,502	△64	(注3)
附属病院収入	11,309	11,730	421	(注4)
財産処分収入	0	1	1	(注5)
雑収入	158	216	59	(注6)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	776	1,261	485	(注7)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	981	935	△46	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	33	0	△33	(注9)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	341	237	△104	(注10)
計	31,787	32,547	760	
支出				
業務費	23,855	23,584	△272	(注11)
教育研究経費	12,701	12,058	△644	
診療経費	11,154	11,526	372	
一般管理費	4,344	4,595	251	(注12)
施設整備費	1,161	1,126	△35	(注13)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	25	45	21	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附 金事業費等	776	1,149	373	(注15)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	11	11	0	
国立大学財務・経営センター 施設費納付金	1,615	1,615	0	
計	31,787	32,125	338	
収入－支出	0	422	422	

○予算と決算の差異について

(注1)施設整備費補助金については、契約金額が予算額を下回ったことにより、5百万円減額、予算段階では予定していなかった災害復旧経費を計上したことにより16百万円の増額。以上の理由により予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっています。

- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が31百万円多額となっています。
- (注3) 志願者数の増加による検定料収入の増額7百万円、入学者増による入学料収入の増額26百万円、授業料免除の増額による減額96百万円。以上の理由により予算金額に比して決算金額が64百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮化、外来患者数の増加及び診療単価の増等が図られたことにより、予算金額に比して決算金額が421百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、予算段階では予定していなかった売り払いにより、予算金額に比して決算金額が百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、財産貸付料や弁償金及び違約金、不用物品売払収入、保険金収入等の増により予算金額に比して決算金額が59百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が485百万円多額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、契約金額が予算額を下回ったため、予算金額に比して決算金額が46百万円少額となっています。
- (注9) 予定していた損害賠償訴訟費用の支出がなかったことにより、予算金額に比して決算金額が33百万円少額となっています。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階よりも計画を縮小したため、予算金額に比して決算金額が104百万円少額となっています。
- (注11) 業務費については、退職手当等の支出額の減少により教育研究経費が予算金額に比して決算金額が644百万円の少額、診療経費においては、(注4)に示した要因等により、医療品費等が増え、予算金額に比して決算金額が372百万円多額となっています。
- (注12) 一般管理費については、退職手当支給対象者の増、附属病院における経営コンサルティング業務等に係る支出増及び災害復旧にかかる修繕費等の増額により予算金額に比して決算金額が251百万円多額となっています。
- (注13) (注1)・(注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が35百万円少額となっています。
- (注14) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が21百万円多額となっています。
- (注15) (注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が373百万円多額となっています。前年度以前における「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」の繰越額からの支出は31百万円となっています。